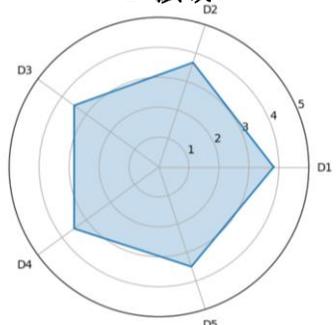
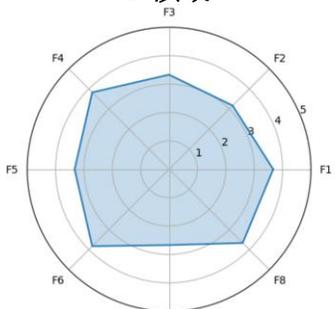


目標の達成状況評価

<p><b>A. 子どもの理解・寄り添い</b></p> <p>A-1 子供の発達段階を理解し、その子に合った関わりができたか</p> <p>A-2 子供の気持ちやつまずきに気づき、受け止めようとしたか</p> <p>A-3 その子のペースや個性を尊重した保育ができたか</p> <p>A-4 子供の自己肯定感を育む声掛けや関わりができたか</p> <p>A-5 困難を抱える子供に対し、継続的に寄り添いながら支援できたか</p>	<p><b>A 領域</b></p>	<p><b>分析・総括</b> <b>成果</b> 子供一人ひとりの発達段階や特性を踏まえた関わりを心がけ、自己肯定感を育む支援を継続できた。</p> <p><b>課題</b> 困難を抱える子供への支援体制をさらに体系化する必要がある。</p> <p><b>改善の方向</b> 記録の共有とケース会議の充実を図り、継続的支援体制を強化する。</p>
<p><b>B. 保育の実践と環境作り</b></p> <p>B-1 安全への配慮や事故を防ぐ予見的行動ができたか</p> <p>B-2 子供が主体的に活動しやすい環境を整えることができたか</p> <p>B-3 子供の姿を記録にまとめ、保育改善につなげることができたか</p> <p>B-4 教材や遊具の管理・準備を適切に行うことができたか</p> <p>B-5 子供の姿を踏まえて、見通しを持った計画的な保育ができたか</p> <p>B-6 保育の中で課題を見つけ、改善や工夫につなげる取り組みができたか</p>	<p><b>B 領域</b></p>	<p><b>分析・総括</b> <b>成果</b> 安全配慮を徹底し、主体的活動を促す環境構成を実践できた。</p> <p><b>課題</b> 記録と計画の連動をより明確にする必要がある。</p> <p><b>改善の方向</b> 保育記録の質向上と振り返り時間の確保を行う。</p>
<p><b>C. 保護者対応</b></p> <p>C-1 保護者に丁寧で誠実な態度で接し、信頼関係を築くことができたか</p> <p>C-2 保護者の相談に対して、園全体で協力しながら対応できたか</p> <p>C-3 保護者へ必要な情報をわかりやすく伝えることができたか</p> <p>C-4 苦情・不安の声に対して冷静に対応し、状況の改善に努められたか</p> <p>C-5 家庭との連携を通して、子供の育ちを共有しながら保育ができたか</p>	<p><b>C 領域</b></p>	<p><b>分析・総括</b> <b>成果</b> 保護者との信頼関係を維持し、丁寧な情報発信を継続できた。</p> <p><b>課題</b> 相談対応の共有体制をさらに明確化する必要がある。</p> <p><b>改善の方向</b> 園内共有を徹底し、連携体制を強化する。</p>

<p><b>D. チームワーク</b></p> <p>D-1 全体で協働しながら保育を進めることができたか</p> <p>D-2 園の理念を理解して保育ができたか</p> <p>D-3 報連相を適切なタイミングで行うことができたか</p> <p>D-4 職員同士が気持ちよく働けるよう、言葉・態度に配慮できたか</p> <p>D-5 新しいことにも前向きに挑戦しようとする意欲を持てたか</p>	<p><b>D 領域</b></p> 	<p><b>分析・総括</b></p> <p><b>成果</b> 理念理解のもと協働体制を維持し、安定した保育運営ができた。</p> <p><b>課題</b> 報連相の質とタイミングの統一を図る必要がある。</p> <p><b>改善の方向</b> 定期的な振り返りと情報共有の場を設ける。</p>
<p><b>E. 専門性の向上</b></p> <p>E-1 研修や学びを保育に生かそうと取り組むことができたか</p> <p>E-2 日々の保育を客観的に振り返り、改善につなげられたか</p> <p>E-3 保育に必要な知識(発達、安全、教育観)を継続して学ぶ姿勢が持てたか</p> <p>E-4 他の職員の実践から学び、自分の保育に取り入れようとする事ができたか</p> <p>E-5 園の方針やカリキュラムを理解し、実践の中で生かされたか</p>	<p><b>E 領域</b></p> 	<p><b>分析・総括</b></p> <p><b>成果</b> 研修参加と実践への反映を意識した取り組みができた。</p> <p><b>課題</b> 学びの園内還元をより体系的に行う必要がある。</p> <p><b>改善の方向</b> 研修報告会の実施と実践共有の機会を増やす。</p>
<p><b>F. 勤務姿勢</b></p> <p>F-1 時間管理・身だしなみ・責任を意識して勤務できたか</p> <p>F-2 多忙な場面でも、落ち着いた行動や丁寧な対応を心がけられたか</p> <p>F-3 業務の優先順位を判断し、効率よく仕事を進められたか</p> <p>F-4 園内の決まりやルールを守り、組織の一員として行動できたか</p> <p>F-5 見通しを持って業務に取り組み、計画的に仕事を進めることができたか</p> <p>F-6 日々の業務がよりスムーズになるよう、工夫や改善を試みる事ができたか</p> <p>F-7 自身の体調管理を意識し、安定した勤務を心がけることができたか</p> <p>F-8 4月に立てた自分自身の重点目標について、意識しながら実践することができたか</p>	<p><b>F 領域</b></p> 	<p><b>分析・総括</b></p> <p><b>成果</b> 安定した勤務姿勢を維持し、責任ある行動が概ね実践できた。</p> <p><b>課題</b> 業務効率のさらなる向上が求められる。</p> <p><b>改善の方向</b> 優先順位の明確化と業務改善提案を推進する。</p>

今年度の自己評価結果は、全体として概ね良好な水準で推移している。

各領域において、子ども理解を基盤とした保育実践、安全配慮、保護者との信頼関係の構築、職員間の協働体制の維持など、園運営の基本的事は安定して実践されていることが確認できた。

特に、

- ・子ども一人ひとりに寄り添う関わり
- ・主体的活動を支える環境構成
- ・保護者との丁寧な連携
- ・安定した勤務姿勢

においては、継続的な取り組みの成果が見られる。

一方で、

- ・記録と計画の連動強化
- ・研修成果の園内還元
- ・情報共有体制のさらなる明確化
- ・業務効率化と組織的改善

といった課題も明らかとなった。

次年度は、これらの課題を踏まえ、

「子ども理解を基盤とした保育の質の向上」

「組織としての連携力の強化」

「持続可能な園運営体制の確立」

を重点目標として取り組んでいきたい。

以上のことから、本園の教育活動は概ね適切に実施されていると総合的に評価する。

